

## 連絡会準備会議の開催

5月の運営委員会で承認された2023年度の運営体制で改編された連絡会について、具体的なその在り方の検討が11月1日（水）より開催されました。出席者は、委員3名、事務局2名の計5名でした。今回の会議では、各ロードマップSWGが絞り込んだ技術テーマを、どのようにコミュニティ活動に繋げていくか、について話されました。

## 2023年度第1回産応協スクールの開催

11月2日（木）に2023年度第1回産応協スクールが、Webセミナーとオンライン実習の形式で開催されました。今回のテーマは、「物理シミュレーションのサロゲートモデル入門」で、講義とCOMSOL Multiphysicsを用いて物理シミュレーションを動かしてサロゲートモデルを構築するまでの手順を演習で学びました。当日の参加者は23名でした。前回に続きオンライン実習でしたが、講師の方より事前に詳細マニュアルが渡されておりましたので、参加者の皆さんの理解も深まったと思われます。

### 《プログラム》

1. 講義                    サロゲートモデルの概要と適用先
2. 実習・講義           例題で学ぶサロゲートモデル

### 《講師》

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

- ・上席主任コンサルタント 篠崎 明氏
- ・主任コンサルタント        宮本 裕平氏

## 第60回コミュニティ委員会の開催

11月8日（水）に第60回コミュニティ委員会がリモートで開催されました。当日の出席者は、委員12名、事務局2名の計14名でした。今回のコミュニティ委員会は、通常のWGの活動報告に加え、先に開催された連絡会準備会議で検討されたHPCロードマップWGと、今後のコミュニティ活動の関係について、委員長から報告があり議論いたしました。アジェンダは、以下の通りでした。

### 《アジェンダ》

1. 前回議事録確認
2. 連絡会について
3. 産応協セミナーWG活動状況報告
4. 産応協スクールWG活動状況報告
5. HPCものづくりワークショップWG活動状況報告
6. 対話交流会WG活動状況報告
7. 第16回産応協シンポジウムの準備状況報告
8. その他（今後の予定等）

## HP CものづくりワークショップWGの開催

11月10日（金）にHP CものづくりワークショップWGがリモートで開催されました。当日の出席者は、委員4名、事務局2名の計6名でした。そもそもワークショップでどのような活動をするべきかの議論からはじまり、産応協セミナー、産応協スクールとの立ち位置等についても改めて検討され、更に運営方法、テーマ案、全体スケジュールについて意見交換が行われました。テーマについては、生成AIや最適化、サロゲートモデル等がキーワードとして挙がっております。全体のスケジュールとしては、今年度中にご担当頂く先生を決め、テーマ、進め方等をご担当の先生を含めて協議し、来年度の秋頃に実際のワークショップを開催することに決まりました。

## 産応協スクールWGの開催

11月13日（月）に産応協スクールWGがリモートで開催されました。参加者は、委員2名、事務局2名の計4名でした。今回のWGの目的は、11月2日に開催された2023年度第1回産応協スクールの振り返りと第2回産応協スクールのテーマ検討でしたが、残念ながら参加できる委員が少なかつたため、小規模な意見交換となりました。第1回スクールの振り返りは、受講者より頂いたアンケート結果の共有を基に次回に向けての課題の洗い出しを行いました。今回のスクールが良かったため、アンケートではサロゲートモデルの発展版を次回のテーマとして欲しいとの意見を頂いておりましたが、今回の講師が丁度第2回目の開催を考えている2月、3月は多忙で無理とのことでした。また、1人の受講者から実習の実行環境の不具合があった、との報告がありましたので、次回に向けての課題として不具合の原因追及を進めることにしました。次回スクールのテーマとしては、最適化、データ同化、粒子法等が検討されました。

## HP C技術ロードマップ材料・化学系SWGの開催

11月14日（火）にHP C技術ロードマップ材料・化学系SWGがリモートで開催されました。今回の出席者は、委員6名、事務局2名の計8名でした。今回は、アカデミアの先生へのヒアリングについて、既に済んでいる先生からのヒアリング結果の共有と、これからヒアリングする先生へのヒアリングポイント等について話し合われました。また同時に、修正方針の確認が行われ、①技術テーマの追加は行わない、②各技術テーマにおいて、AI、量子のキーワードを入れる、③補足ページについて記事追加またはページの追加を検討する、の3点が確認されました。

## 第5回主査会の開催

11月15日（水）に第5回主査会がリモートで開催されました。今回の出席者は、委員8名、事務局2名の計10名でした。最初に5月の運営委員会で議題として取り上げた、産応協の活動活性化について、連絡会の進捗状況、広報活動の進捗状況が報告され、意見交換が行われました。続いて、各WGの活動進捗状況が報告され、意見交換が行われました。各WGとも年度初めの年間計画に基づき、着実に活動を進めていることが確認でき、また情報の共有化が諮られました。

## HP Cロードマップ機械系SWGの開催

11月16日（火）にHP Cロードマップ機械系SWGがリモートで開催されました。今回の出

席者は、委員8名、事務局2名の計10名でした。機械系SWGでは、ロードマップのテーマ毎にSWGメンバーをグループ分けしており、それぞれ（CFRPの構造解析、冷凍サイクル、スマートシティ・ビル・ハウス、インフラシステム、内燃機関、ガスタービン、ユーザモビリティ高度化技術）について、検討状況の報告があり、意見交換が行われました。また今後の進め方については、ロードマップWG主査より説明があり、12月の運営委員会において各SWGの検討状況を報告と全体の修正方針の報告が行われることが確認されました。

## 第二階層HPCI資源提供機関との意見交換会の開催

11月21日（火）に第二階層HPCI資源提供機関（各大学計算機センター長）との意見交換が、RIST様の東京事務所会議室において開催されました。今回の出席者は、資源提供機関からは、リモート出席者も含め11名、産応協からはリモート出席者、事務局も含め12名が参加いたしました。その他利用支援機関であるRIST様から同じくリモート参加を含め9名、文部科学省様からもオブザーバという立場でご参加いただきました。意見交換の議題は、次の3点でした。①東京大学情報基盤センターにおける企業利用の概要、②第二階層HPCIでのファーストタッチオプション相当の実現の可能性について、③各センターの計算機・ソフトウェア情報（ソフトの詳細バージョン情報、アプリソフトの性能情報等）の提供について、でした。いずれもHPCIの利用促進を進める上で大切なテーマで、資源提供機関と利用者の意識すり合わせをするため、熱心な意見交換が行われました。

## HPCロードマップ建設分野サブWGの開催

11月22日（水）にHPCロードマップ建設分野サブWGがリモートで開催されました。出席者は、委員6名、事務局2名の計8名でした。今回のSWGでは、現行ロードマップの更新に向けての細部の確認と、併せて主査より他SWGの進捗状況について説明がありました。また、構造、施工、連成解析などテーマ毎に見直しのポイント等について説明があり、情報共有いたしました。今後は、2月、3月にアカデミアへのヒアリングを計画しています。

## 第69回企画委員会の開催

11月29日（水）に第69回企画委員会がリモートで開催されました。今回の出席者は、委員13名、陪席（特別会員、RIST様他）4名、事務局2名でした。アジェンダは、以下のとおりでした。

《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 産応協の活動活性化への取り組み
3. HPC技術ロードマップWGの活動状況
4. 施策提言WGの活動状況
5. コミュニティ活動状況
6. HPCIコンソーシアム活動状況報告
7. 2024年度活動体制について
8. 2023年度予算状況について
9. 第16回産応協シンポジウムにおける産応協活動報告について
10. 関連団体からのイベント協力要請について
11. その他（今後の予定等）

以 上

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】

住所：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門第一ビル 6階

電話：080-6906-5461 E-Mail：[icscp\\_office@icscp.jp](mailto:icscp_office@icscp.jp)

担当：中川，滝口

## 《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

